



12月10日に招集された第4回定例町議会は、12月13日、全日程を終えて閉会しました。今定例会では条例改正のほか、補正予算などが審議されました。広報では、町長と教育長の行政報告の概要についてお知らせします。

町長行政報告

**1 一次産業の概況について**  
 本年11月30日現在の新冠町農協およびひだか漁協取り扱いの販売実績によりご報告しますが、農協数値につきましては、各市場からの報告に時間を要するなど30日現在の見込みというところでご理解願います。はじめに農産部門です。水稲につきましては、5月以降はおおむね天候に恵まれたことから生育は順調に進み、胆振・日高地方にお

ける作況指数は103となり、作柄は「やや良」でございました。なお、製品につきましては、色彩選別機を活用した丁寧な調整に努められ、全量が一等米でございます。次に、そ菜でございますが、基幹作物でありますピーマンは、豊作年となりました昨年を上回る反収となり販売単価におきましても、例年10月以降、本州産が市場に出回る時期が、台風の影響で遅れたことにより高値を維持でき、販売数量は前年を198トン上回る

2532トンとなり、販売金額は14億5160万6885円で過去最高値を昨年に引き続き更新しました。次に畜産部門です。はじめに軽種馬に關してですが、北海道市場における軽種馬の販売状況につきまして、インターネットを始めとした市場改革に取り組まれている関係者のご努力が功を奏し好調なセール開催となりました。市場全体の売却総額は過去最高額を記録しましたが、このうち、町内生産馬の上場は499頭で、403頭が売却されており、売却率は過去最高値の80・8%、1頭当たり平均売却額は798万6千円、売却総額は32億1816万円となりました。

2532トンとなり、販売金額は14億5160万6885円で過去最高値を昨年に引き続き更新しました。次に畜産部門です。はじめに軽種馬に關してですが、北海道市場における軽種馬の販売状況につきまして、インターネットを始めとした市場改革に取り組まれている関係者のご努力が功を奏し好調なセール開催となりました。市場全体の売却総額は過去最高額を記録しましたが、このうち、町内生産馬の上場は499頭で、403頭が売却されており、売却率は過去最高値の80・8%、1頭当たり平均売却額は798万6千円、売却総額は32億1816万円となりました。

酪農につきましては、乳量は1戸あたり生産量が前年より34トン増加しており、乳代の引き上げもあり、前年を上回る9億7438万6千円となりました。肉用牛につきましては、主力となります黒毛和牛の素牛販売市場におきまして、配合飼料価格の高止まりや長引く外食需要の低下のため取引価格の下落が続いており、売却額は前年を下回りました。また、肥育牛販売におきましても同様の理由から、売却額は前年を下

回る結果となりました。最後に水産部門です。まず、秋さげでございますが、本年6月に公表された「道立総合研究機構さけます内水面水産試験場」の来遊予測値において、「えりも以西・日高沿岸地域」では、前年比135・6%と示されておりました。しかし、漁期となる9月における、日高近海の平均海水温は20℃と、平年並みでありましたが、日高管内全体に目を向けましても過去最低水準の不漁となっております。当町もこの不漁を受け、漁獲金額が前年を下回る2718万9982円でした。

農産部門					
作物名	区分	単位	令和5年度	令和6年度	前年対比
水 稲	収 量	kg	459,600	432,060	△ 27,540
	販売金額	千円	96,174	124,402	28,228
ピーマン	収 量	kg	2,333,447	2,532,417	198,970
	販売金額	千円	1,267,567	1,451,607	184,040
その他そ菜計	販売金額	千円	55,574	50,393	△ 5,181
畜産部門					
品 種 別	区 分	単 位	令和5年度	令和6年度	前年対比
サラブレッド (北海道市場実績)	売却頭数	頭	401	403	2
	売却額	千円	3,261,800	3,218,160	△ 43,640
酪農関係	乳 量	t	8,917	8,691	△ 226
	乳 代	千円	909,891	974,386	64,495
肉用牛関係 (黒毛和牛・交雑種)	売却頭数	頭	1,015	881	△ 134
	売却額	千円	639,135	537,356	△ 101,779
水産部門					
魚 種	区 分	単 位	令和5年度	令和6年度	前年対比
秋さけ	数 量	kg	42,861	27,112	△ 15,749
	金 額	千円	37,038	27,190	△ 9,848
た こ	数 量	kg	82,303	55,510	△ 26,793
	金 額	千円	86,778	49,000	△ 37,778
その他	数 量	kg	383,502	241,445	△ 142,057
	金 額	千円	77,946	46,939	△ 31,007

2 給付事業の結果について

町では、国のデフレ完全脱却のための総合経済対策の内容を踏まえ、定額減税を補足する給付を実施するため、4種類の交付金事業を実施し、11月末をもって全ての給付を完了いたしましたので、結果についてご報告申し上げます。まず、令和6年度の定額減税において、課税額が定額減税額に満たない者に対して不足額を給付する「定

額減税調整給付金事業」ですが、実績としては858人に対しまして3468万円を給付し、97・3%の支給率となっております。

次に、令和6年度に新たに住民税非課税となった世帯に10万円を給付する「住民税非課税世帯臨時特別給付金事業」でありませんが、実績では99世帯に990万円を給付し、51・6%の支給率となっております。

また、令和6年度に新たに住民税均等割のみ課税となった世帯に10万円を給付する「住民税均等割世帯臨時特別給付金事業」ですが、実績では40世帯に400万円を給付し、57・1%の支給率となりました。

最後に、定額減税調整給付金を除く2事業の世帯に18歳以下の児童がいる場合、1人あたり5万円を加算給付する「こども加算給付事業」に関して、実績では13人分である65万円を給付し、36・1%の支給率となりました。

3 町政懇談会の結果報告  
 まちづくりの考え方などについて、私が町民の皆さまに直接説明し、そして意見をいただくことは、協働のまちづくりの根幹であり、

大切なことと考えています。その具体的な取り組みの1つが町政懇談会の実施です。私が町長に就任してからはコロナ禍にあった令和2年度を除き、毎年11月に各地区で町政懇談会を開催し、町民皆さまの声を傾け、「開かれた行政」の推進に意を用いてきました。各自治会を対象とした本年度の町政懇談会は、11月25日から29日までの4日間において開催しました。